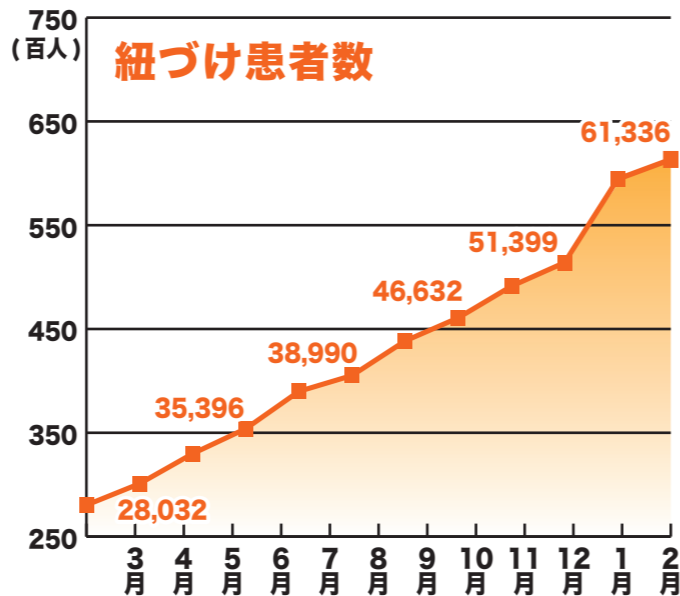
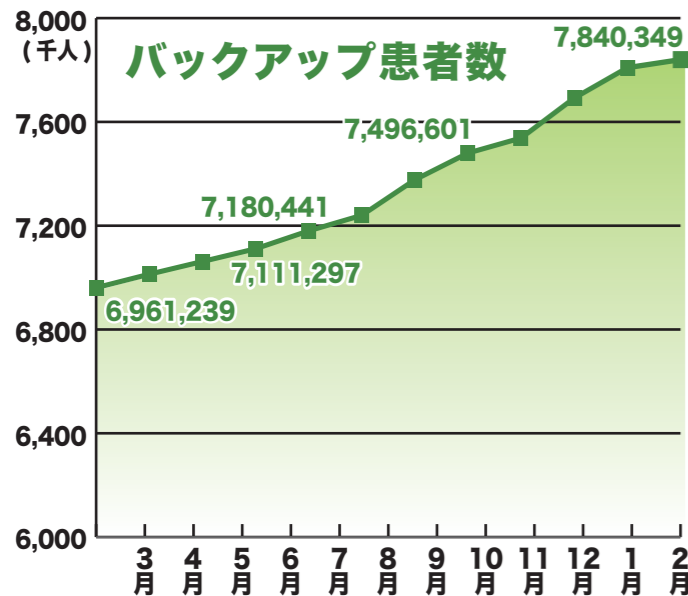
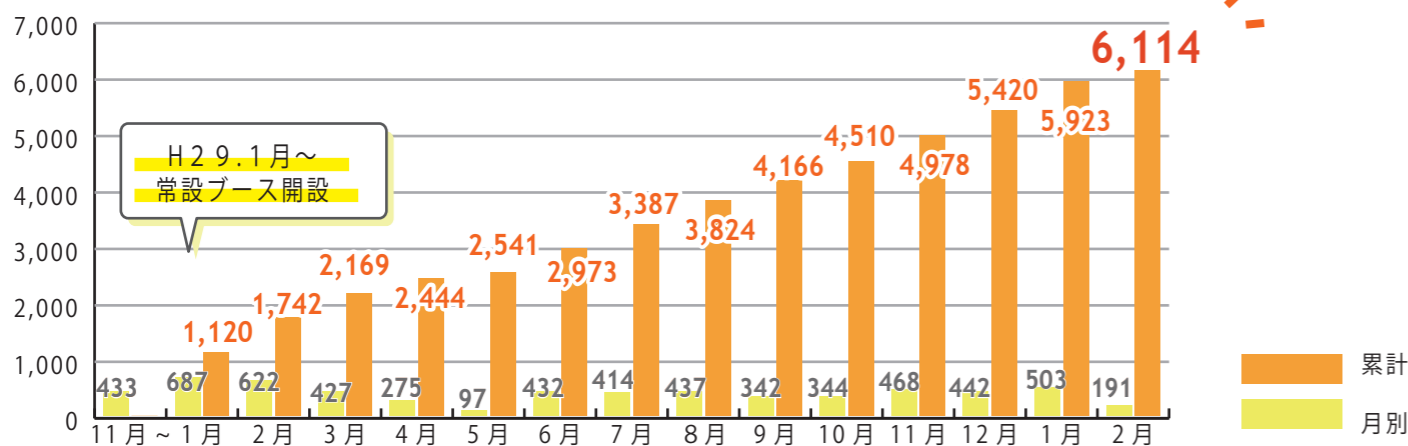


データ推移 両データ共に、順調な増加傾向にあります。バックアップ患者数は前月比 +31,830 人、紐付け患者数は前月比 +1,895 人となりました。



※平成 30 年 2 月 16 日 (金) 時点

大崎市民病院ブース・加入累計 6,000 人超!



平成 27 年 11 月臨時ブース開設時期からの加入患者数が、2 月 15 日現在、6,114 人となりました。平成 29 年 1 月からは常設ブースを開設させていただき、1 日 20 名、平均で加入者数が増えています。医療機関での情報共有の必要性を感じ、ご加入いただいている患者様の期待に沿えるよう、新規施設の参加を増やすとともに、既に参加されている施設の運用拡大に努めて参ります。



発行：一般社団法人 みやぎ医療福祉情報ネットワーク協議会

〒980-8633 仙台市青葉区大手町 1-5 宮城県医師会館 6 階 URL: <http://mmwin.or.jp>
 サポートセンター TEL: 022-399-6880 サポートセンター E-mail: support@mmwin.or.jp
 事務局 TEL: 022-395-6312 FAX: 022-395-6313 E-mail: office@mmwin.or.jp

当協議会からのメールを受信できない場合がございますので、「@mmwin.or.jp」からのメールを受信できるように設定してください。
 『MMWIN』、『みんなのみやぎネット』は、一般社団法人みやぎ医療福祉情報ネットワーク協議会の登録商標です。
 ※本誌の収録内容の無断転載、複写、引用、改変等を禁じます。



MMWIN 5 周年記念シンポジウム・祝賀会

当法人 (MMWIN) は、東日本大震災を契機として、復興支援の一環を担うため「医療介護福祉情報のバックアップ」及び「医療介護福祉情報の共有」を目標に掲げて事業を着手し、法人設立から 5 年が経過致しました。

ネットワークの活用による切れ目のない連携を



これまで、全県展開のためのネットワーク構築や基本システム、個別システムの運用などに取り組んでまいりましたが、県内 827 (平成 30 年 1 月末日現在) の参加施設様や東北大学様をはじめ医師会、歯科医師会、薬剤師会、看護協会などの多くの団体にご参画頂き、県や国の財政支援を得て「オール宮城」の支援体制により事業を推進してきたところです。

また、情報共有同意患者数が 6 万人を超え、データバックアップ数も 3 億近い水準で推移しており、今年度末に向けてはシステムのリプレイスや画像連携システムの構築、眼科連携や透析連携などの個別システムの充実などにも取り組んでおります。これまでの 5 年間の節目として、平成 30 年 2 月 12 日 15:00 より江陽グランドホテルにて【MMWIN 5 周年記念シンポジウム及び祝賀会】を開催させて頂き、ご来賓を含め、187 名の皆様にご出席頂きました。

基調講演では、国際医療福祉大学大学院教授 武藤正樹先生より「2025 年へのカウントダウン～同時改定と ICT～」のテーマでご講演頂きました。

これまで、ご支援、ご協力頂きました各参加施設、各団体の皆様に改めて感謝申し上げます。今後、当法人といたしましても従来の事業ミッションに加え、国の重要政策課題である 2025 年に向けた地域包括ケアシステムの構築も展望し、医療福祉情報ネットワークの活用による切れ目のない連携を図ることで、大きな役割を果たしていきたいと考えております。皆様の引き続きのご支援、ご指導を宜しくお願い致します。



仙台市 さとう腎臓内科ひ尿器科

仙台市太白区 長町
佐藤 正嗣 院長

来年度より、県内の計24施設で透析連携システムがスタートします。その参加施設の中で、今年度加入いただいた「さとう腎臓内科ひ尿器科」の佐藤正嗣院長より、現在の院内でのご案内状況や今後の使い方について、コメントをいただきました。

当院は、昨年12月にMMWINに加入いたしました。システムが作られて、まだ日が浅いということでシステムを十分に活用出来ているとは言い切れない状況です。しかしながら、今後、透析連携システムを活用していくにあたっては、当院に通っている患者様にMMWINへの加入することに同意していただくことが必要になりますので、現在、患者様にたいして積極的に加入案内をしています。直近2カ月では、50名を超える患者様に同意加入いただいている状況になっています。



佐藤 正嗣院長



これまで連携先の施設とは患者様の透析基礎情報や透析記録などの透析文書をFAXでやり取りしておりましたが、MMWINを活用した連携を進めると施設間での運用も変わってくると思います。

まだ、構築していないので何ともいえないですが、どのようにすれば双方の施設での事務作業の軽減できるかを考え、MMWINを活用した運用を院内で定着させていきたいと考えています。

また、この透析連携システムに対して、期待と不安がありますが、実際運用してみて、不都合や改善点が見受けられた場合は、MMWIN事務局へフィードバックしていこうと思います。



さとう腎臓内科ひ尿器科



透析室

仙台市 トミザワ薬局 栗生店

仙台市青葉区 栗生
管理薬剤師 永井 敦 様

日々の業務にMMWINをご活用いただいているトミザワ薬局栗生店様にお伺いし、活用されているMMWIN情報の内容や今後の活用について、お話をお伺いしました。

現在の活用状況

東北大学病院、宮城県立こども病院、東北公済病院など、総合病院に通っている患者様がよくいらっしゃいます。患者様が通う医療機関の情報がMMWIN上で閲覧できるので、調剤時の情報収集や確認に有用です。

中でも、検査結果や診察時のメモ等の添付ファイルをよく閲覧しています。これらの情報から、前回の来局時から現在までの患者様の身体の様子を知ることができますし、また、診察された先生がどのような意図をもって処方内容を決められたのかを把握する上で役立ちます。

また、特に状態が変わりやすい小児の患者様については、体組成や電解質、血中濃度測定の結果が分かると処方の妥当性を判断する上での根拠ともなります。

まだ全ての医療機関で処方せんに検査値データを添付してもらえないという状況ではありませんので、各施設が提供して下さるMMWINの情報が非常に役に立っています。



トミザワ薬局 栗生店



受付

MMWIN活用の展望

患者様の持参するおくすり手帳以外にも、MMWINのような患者様の様子を知ることができるツールがあるのはありがたいです。現在は他施設の情報を閲覧する目的でMMWINを活用していますが、他施設とのコミュニケーションをMMWIN上で行うことができるなど、双方向でやり取りができるようになるとより価値が高まると思います。

また、今後は在宅医療の推進などによってこれまで以上に患者様の治療に関わる関係者が増えていきますし、地域医療をサポートする関係者が連携を深めていくためのツールとなるとより良いと思います。

ご案内

ユーザーズミーティング開催案内等のご案内をメールで送付しております。MMWINご担当者様のメールアドレスの登録をお願いしております。「koho@mmwin.or.jp」まで、施設名とご氏名を明記の上、メールをお願い致します。右記のQRコードからもメールを送付いただけます。

